うちのネコ
どこさ行った？！

メンバー：加藤、藤田、有村、小倉

アイデアシート

Day1 個人ワーク

アイデアシート①作成（10分間）

アイデアシート

アイデアのタイトル：（タイトル）　うちのネコ、どこさ[redacted]行った？！

アイデアの特徴：

- 迷いネコが隠れそうなエリア・場所をマップ上に公開する。
- 飼っているネコが脱走してしまった時に！
- ネコ飼いさんから情報も得られる。

ユーザー（こんな人が）

ネコを愛している人

シチュエーション（こんな時に）

脱走してしまった時

うれしさ（こんな経験を提供したい）

心を保てる

Gginegist

© Code for Japan

ストーリーボード

Day2 グループワーク

①特徴	②ターゲット
・猫を見つけるためのもの ・返ってくるかは猫次第 →気持ちを静めるためのもの 猫を探せることではなく、 猫を探す人とつながっていける	・猫飼い ・市民 ・猫が行方不明の人
③シチュエーション	④どんな「うれしさ」
・猫が脱走した	・猫を探すときの助けが得られる

1 脱走して困る

2 登録

まずは猫の情報を登録！

3 マップ活用

近くの隠れ場所がすぐわかる！

4 コミュニティ協力

地域のみんなが協力してくれる

5 発見

いた！無事に見つかった！

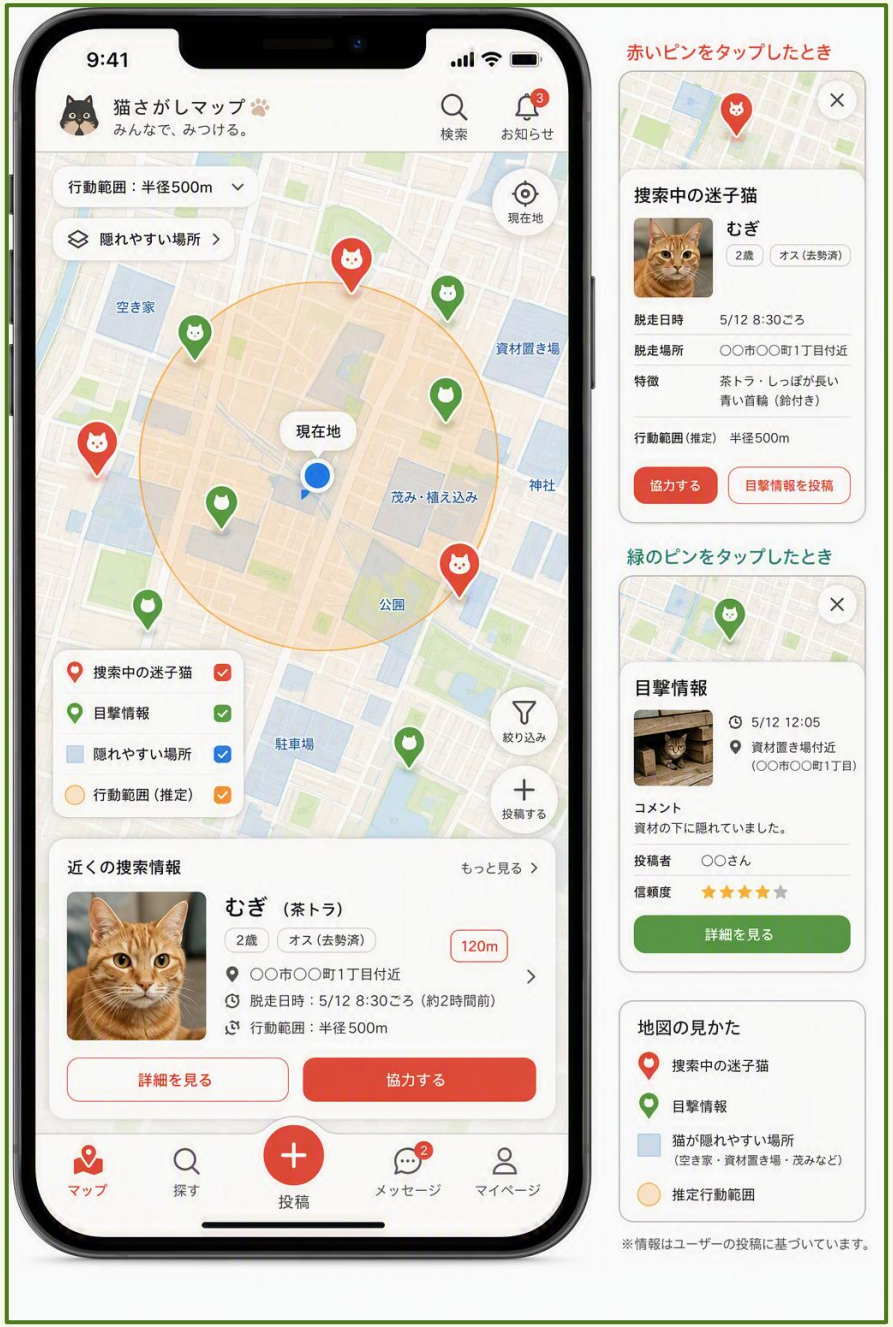
6 私も誰かに協力しよう

今度は私が誰かの力になろう

つながる・助け合う・見つかる

イメージ

Day2 グループワーク



赤いピンをタップしたとき

緑のピンをタップしたとき

※情報はユーザーの投稿に基づいています。

サービスキャンバス

Day3 グループワーク

サービスキャンバス

担当部署：　事業名：

提供者エリア

提供者はどんな人？

猫の保健所／保護団体／保護施設

困りごと

野良猫増加による糞害等の環境悪化
捕獲・保護費用の増大

嬉しいと感じること

野良猫の減少
脱走猫で困る市民への支援
市民の幸福感向上

提供者がもっとも実現したいこと

予算の節約／使命・義務の達成

価値エリア

利用者の価値

猫との日常を取り戻し、維持できる
地域とのつながりが深まり、以前より豊かな暮らしへ

提供者の価値

野良猫・環境負荷・捕獲費を削減
市民を支援し、行政の使命を達成
幅広い市民参加が地域コスト削減につながる

利用者エリア

利用者はどんな人

猫を愛する市民、特に猫の飼い主・脱走経験者
最優先：今まさに猫が脱走中のスマホ利用者

困りごと

猫がいなくなった
対処法や捜索支援サービスが見つからない

嬉しいと感じること

猫の帰宅／飼い主同士の交流
飼えなくても猫を支援できる

利用者がもっとも実現したいこと

脱走猫を発見し、猫と暮らす日常を維持する

解決策エリア

取り組むべき課題

脱走猫を探すサービスがない／見つからない
サービスの認知経路が不足
脱走数と保護猫数の関係を把握できず、予算策定に活かせない

解決策（実施内容）

猫捜索・情報共有サービスをリリース
認知・普及を推進

施策を普及させるための手段

市報へチラシを折り込み
獣医師会で共有し、動物病院から案内
譲渡会でチラシを配布

解決策を実現するための活動とリソース

初期費用：300万〜400万円／開発期間：6か月
運用費：5万円／月
利用者：初年度500人 → 2年目2,000人
1人当たりコスト：100〜200円

目指す成果　脱走猫の早期発見・帰還を増やす
サービスの認知度向上

中長期的に目指すこと　保護猫・野良猫と対応コストを削減
データを予算策定・施策改善に活用

活動評価指標

保護猫の頭数
首輪をしている猫の通報件数
サービス内の猫脱走・帰還・発見件数

注）「課題解決ツールボックス ご利用条件」に準拠してご利用ください（https://www.gov-toolbox.jp/#terms）

Used as a reference 'Business Model Canvas' Strategyzer.com
This work is licensed under the Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License. To view a copy of this license, visit http://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/.